



※高杉保育園園児の皆さんの和太鼓演奏を心待ちにしている様子です。

本年も

晴天なり

特別養護
老人ホーム

サンアップルホーム

7月30日(日)サンアップルホーム中庭にて、第20回サンアップルホーム大納涼祭が行われました。この第20回という節目を迎え、これまで納涼祭の運営を支えて下さいました地域の皆様、ボランティアの皆様、長年のご功績に対して、感謝状を送りました。表彰された団体は、次になります。

- ・弥生青年団
- ・上弥生・でこぼこ会
- ・杉山青年団
- ・上弥生公民館
- ・高杉保育園
- ・高杉婦人部
- ・さくらの会
- ・弘前厚生学院
- ・弘前福祉短期大学
- ・弘前学院大学

(敬称略順不同)

これからも、皆様のお力をお借りしながら、地域に根ざしたサンアップルホームとして、より一層の努力をしてまいりたいと思っております。ご協力ご支援をお願いいたします。

さて、本年度の大納涼祭も晴天に恵まれ、恒例となりました高杉保育園園児の皆さんによる大変かわいらしい和太鼓演奏から始まり

ました。年長さんを中心に、一生懸命に演奏する姿に、拍手喝采。「めごいのう。毎年これ楽しみで。」という方も沢山います。第20回という事は、第1回目に演奏してくれた園児さんは、26、27歳(！)何とも感慨深いものがあります。

デイサービス職員による『人間ねぶた、ねぶた、立佞武多』も好評でした。舞台から会場に降り立ち、人を掻き分けての勇壮(?)な御通りに、泣き出してしまいう子供さんもありましたが、折り紙の金魚を貰ってニッコリ。

そして、今年のメインイベントは、『木田俊之・大和たける歌謡シヨ』大鰐町出身の木田さんの軽快な津軽弁トークで会場は、木田ワールド一色。ねぶた絵師でもあり作詞の八嶋龍仙さん一行の応援団をバックに『ねぶた祭魂』の歌が響きます。津軽人には、たまらないひと時でした。

こうして、サンアップルホーム大納涼祭は、盛況のうちに終了しました。来年も、皆さまが楽しめる企画をいたしますので、お誘いの上ご来園ください。

峰のひかり

発行人
社会福祉法人
七峰会

理事長 奥田 稔
〒036-8356
青森県弘前市大字下白
銀町21-8
電話(0172)33-8861
FAX(0172)33-8862

夏だ! ビールだ!

焼肉だ!

山郷館

夏まつり

身体障害者
療護施設

山郷館

汗と涙が雨で流れた昨年の夏まつりでしたが、7月29日(土)に実施された今年は、天候に恵まれ、夏の一夜を満喫できる夏まつりとなりました。「山郷館の夏まつり」といえば、①屋外で炭火コンロを囲んでの焼肉とほたて・カニなど新鮮な魚介の入った海鮮焼 ②生ビール ③弘前十腰内地区の登山囃子 ④花火 が定番となっています。今年も、多くの方に来場いただき、大いに盛り上がりました。生ビールを飲んでいる時の利用者の顔も……グット!です

「夏まつり」は、楽しさいちばんの夏行事という意味合いだけではなく、ご家族共々楽しんでもらえる内容であり、日頃の交流では見られない、お子さんたちのにぎやかな声もまつりを盛り上げてくれます。9月には、「山郷館くろいし」がオープンとなり、利用者が一同に会する夏まつりは今年で最後となります。ちよっぴり寂しい気はしますが、来年からは、かたちは変わってもこれまでの地域の皆さんとの交流を大切に、より発展させた夏まつりをみんなで創り

あげていきたいと思えます。



旭光園

夏まつり

身体障害者
授産施設

旭光園

旭光園では、暑い夏場の仕事の労をねぎらい、パワーの充電を目的に夏祭り行っています。

旭光園の仲間達とご家族・町会長さんたちの親睦も兼ねた、手作り風のガーデンパーティーといった趣です。

仕事を終えた夕方会場に集まり、品川自治会長の「楽しく食べて飲みましょう」の乾杯の後、バーベキューを囲みながらビールを酌み交わしました。途中職員による、



タネはばれていても一応驚いてくれたショートマジック、張り切ったわりに曲が古くて「その歌わかんなくい」と言われ歳の差にへこんだ職員バンド、いつも盛り上がる福引、童心に返る花火などがあり、和やかで心地よいひと時でした。

今年も 頑張っています

—夏のボーナス—

働ける施設旭光園では、毎月の工賃の他に夏期・冬期・決算の年3回各手当ての支給があります。8月は夏期手当ての支給がありました。予想通りの額だった方、残念ながら期待外れだった方などそれぞれでしたが、今年前半も元気に仕事をし、手当てを手に出れたことを喜んでいました。

依然県内の景気は回復せず、旭光園の授産活動も厳しい状況にあります。この次もボーナスがもらえるよう頑張ろう」という利用者の方の声にこたえて行きたいと思えます。



ご注文お待ち

しております!

- ・レジバック、ゴミ袋
- ・シール、ラベル印刷
- ・各種割り箸

TEL 0172-57-5155
FAX 0172-57-5156

旭光園

夏期訓練を

実施!

自閉症児 就労訓練

知的障害者
通勤寮

拓心館

勇心学園では、今年から自閉症児を対象とした就労訓練を始めました。過去に昭和57年から平成7年まで短期訓練と称して同様の訓練を実施したことがありましたが、今回リニューアルということになりました。

この訓練は、自閉症の子供が卒業後就労するときに必要な力を養うことを目的にしています。働くためには、仕事をこなすだけではなく、毎日会社に通うこと、挨拶や返事の習慣化、清潔を保つこと等総合的な力が必要になります。「その時」になって一度に沢山のことが求められる状況は自閉症児にとって大きな苦痛となることが考えられます。そのため、在学中から徐々に働く上で必要なことを身につけ「その時」に備えていくことを目指して実施し、今後も続けていきます。

訓練は、7月24日(月)から7月27日(木)の4日間で行われました。参加児童は、養護学校高等部と中学部の生徒、のべ21人(1日5人ほど)。支援するスタッフは、訓練期間中サポートしてくれたボランティアの学

生がのべ20人と勇心学園から担当職員1名という体制でした。

朝は、バスで通所するところから訓練が始まります。参加児童とボランティアが弘前駅からバスに乗り勇心学園へ「出勤」します。初めてバスを利用するという子供もいましたが、パニックになることもなく乗車できたとのことでした。到着後は着替え、朝の会、作業と続きます。作業は、お菓子の袋詰め。お母さん方は商品のお菓子を食べてしまわないか心配だったようですが、仕事中は真剣そのもので、不心得者は一人もいませんでした。

4日間の訓練が終了し、少しではありましたが、作業の工賃を貰い、帰るときの子どもたちのほっとした表情が印象的でした。

訓練を支えてくれたのは弘前学院大学の学生さんでした。ご協力に感謝します。ありがとうございます。



障害児

短期訓練

知的障害者
更生施設

拓光園

7月28日から30日までの3日間、拓光園では夏休み恒例となっている障害児短期訓練が行われました。今年には生徒11名、弘前学院大学の学生ボランティア21名の参加がありました。その方々の声を紹介いたします。

ぼくは、しいたけ作業をやっておもい木をはこんでつかれました。こうさく作りもやりました。ぼうし作り、カレー作りをやりました。またさんかしたい。

弘大附属養護学校高等部2年樋口千晃

1日目は、午前中顔写真をさがしてどこかにありました。それでのりではりつけました。お姉さんの顔写真をすぐみつけることができました。スケジュール表を作って、のりできれいにはることができました。レクリエーションで絵合わせカードをすぐに合わせることでできてうれしかったです。お昼ごはんでは残さず全部食べました。くぎ打ち絵作りで電車を作ることができました。

第一養護学校高等部2年福田直樹

私は、障害を持った人をどうしても特別な人と見てしまいます。でも3日間接してきて自分よりとてもきれいな好きだったり、整理ができたり、わたしたちに座布団を持ってきてくれたりして頼もしかったです。一人ひとり特徴があつていろんな人と接することができてよかったです。

弘前学院大1年齋藤生恵

今回は、参加者一人ひとりの個性を伸ばすことを目標に臨みました。担当した児童だけでなく参加した方全員のことを把握し個性を生かせるといいと思いました。

弘前学院大2年乗田麻衣子



障害児短期訓練に関しては是非当園までお問い合わせください。

いわせてネット

弥生小学校ねぶた運行

去る7月26日(水)弥生小学校では、毎年恒例のねぶた運行が行われました。平和↓山郷館・拓光園↓杉山↓サンアップルホーム↓弥生町会↓園↓弥生保育所↓上弥生↓弥生小学校が運行コースです。今年で創立60周年を迎える弥生小学校では、親子3世代という方も少なくなく、親の小学校に対する思いも特別のものと思います。当日は、遠くの方から聞こえてくる太鼓や囃子の音がだんだん近づいてくると「気持ちっこ、じゃわめでまね。」とそわそわし、子供達に混じり、一緒に歩くサンアップルホームのお年寄りの姿もありました。

ここで、弥生小学校の児童の皆さんから一言いたただいていきますので、ご紹介します。

- ・ねぶたに灯りがついた時、きれいだなあと思った。 ゆうり
- ・小学校最後のねぶたに参加できて良い思い出になった。 あおい



P T A 会長

- ・ いったい歩いて疲れた。しほ
- ・ 歩き疲れた。 こうき
- ・ みんなに見てもらって、嬉しかった。 ひろゆき
- ・ 色々大変だったけど、立派なねぶたができ、いい思い出ができて良かったです。 ほなみ
- ・ ねぶたに灯りがついた時すぐきれいで感動した。 小学校最後のねぶたで太鼓を精一杯がんばった。 はるか

○ねぶた運行は、子供達にとつて大変楽しみな行事の一つです。子供達の笑顔は、親の気持ちも奮い立たせます。私も弥生小の卒業生であり、こうして子供達の代に受け継がれていく事が、何より嬉しく思います。

七峰会後援会コーナー

肌寒さの感じられた7月から一転し8月に入ると猛暑が続いています。会員の皆様には紙面をお借りし暑中お見舞い申し上げます。

さて、5月から建設工事に入りました身体障害者療護施設『(仮)山郷館くろいし』は天候にも恵まれ、現在工事進捗率90%と9月10日の引渡しを目前に近づいていっています。

2月の総会では今年度の事業の1つとしてこの『(仮)山郷館くろいし』の見学会を企画する事になっています。9月20日にオープンですが、利用者の皆様や職員が新しい施設生活にも慣れた頃の10月下旬に実施を予定しています。後日御案内を申し上げますが多数のご参加をお待ちしています。

また、後援会会費の納入につきましても合わせてお願い申し上げます。暑中のご挨拶と致します。

総合支援	知的障害者援護	身体障害者援護	特別養護老人ホーム	住宅介護事業
<p>弘前市委託事業 身体障害者相談支援事業 弘前市障害者生活支援センター TEL 31-2400</p> <p>青森県指定 津軽障害者就業・生活支援センター TEL 82-44520</p>	<p>拓 拓</p> <p>心館 TEL 82-4520 知的障害者グループホーム(9か所) 生活自立訓練事業 地域生活支援センター 勇心学園 デイサービスセンターエイブル TEL 96-2331</p> <p>通所利用事業 拓光園短期入所支援センター 拓光園障害児短期入所支援センター 知的障害者グループホーム(2ヶ所)</p>	<p>旭 山</p> <p>郷館 TEL 97-2211 身体障害者(児)短期入所事業 山郷館デイサービスセンター 山郷館デイサービスセンター弘前 山郷館デイサービスセンターくろいし 山郷館訪問介護センター 山郷館訪問介護センター黒石 TEL 57-5155</p> <p>通所相互利用事業 旭光園身体障害者短期入所事業 身体障害者福祉ホーム さわら</p>	<p>サポートセンターわかば 弘前市大字若葉2丁目15 TEL 37-1165</p> <p>認知症グループホームわかば デイサービスセンターわかば 弘前市委託事業 サンアップル在宅介護支援センター TEL 97-2131</p>	<p>山郷館居宅介護支援センター TEL 97-2941</p> <p>サンアップル居宅介護支援センター TEL 97-2131</p> <p>サンアップルホーム TEL 97-2111 サンアップル短期入所生活介護センター サンアップルホームエイビスセンター サンアップルヘルパーセンター 認知症グループホームアップル TEL 97-2778 認知症デイサービスセンターじよい TEL 97-2013</p>